

J S R A

第34回通常総会開催
25年は廃タイヤ収集微増

協同組合日本タイヤリサイクル協会(J S R A)は5月22日、東京・日比谷で第34回通常総会を開催した。



鳥海理事長

事業報告では、J S R Aの2025年歴年の廃タイヤ収集量は37万5千ト、前年比100・8%と微

増となった事が発表された。

また、昨年度の共同納入量は8万9千トで、前年から12・4%(重量では9千ト)の増加だった。

なお、今年度の事業計画で共同納入量は8万8171トに設定された。役員改選では鳥海理事長はじめ理事、監事全員が再任された。

懇親会で挨拶に立った鳥海理事長は、『今年も

需要が供給を上回る状況が続くものと思われる。

さらに、再資源化事業等高度化法が施行され、廃タイヤ処分を行った数量、再資源化を実施した数量を環境省に報告することとなった。

J S R Aを取り巻く環境が大きく変化する中で、皆様のご協力を得ながら引き続き基本理念を着実に遂行していきますのでよろしくお願いします』と語った。